

## 当健保の課題

- レセプトから見える課題：当健保のレセプトデータによると、**複数薬局で調剤を受けている患者や、複数の医療機関から同一成分の医薬品を処方されている患者**が存在している。
- **コロナ禍による健康課題**：慢性疾患を抱える加入者にとっては、継続的な服薬のフォローが必要であるにもかかわらず、コロナ禍の受診控えによって**身体的・経済的負担に加え、心理的負担が加わり、受診中断に繋がっている可能性がある。**

当健保の課題はいずれも、**かかりつけ薬局/薬剤師の利用率が低く、医師・薬剤師による一元的・継続的な服薬管理**が行われていないことに起因する可能性がある。

## 本事業の目的

- 患者のための薬局ビジョン以降、かかりつけ薬局等の普及に向けて行政施策が実施され、リフィル処方箋の導入も実現した。
- 今後さらに服薬期間中の医師・薬剤師によるサポートが必要不可欠になってくるものの、かかりつけ薬局/薬剤師・リフィル処方箋に関する保険者による先行事例はない。

「調剤を受ける薬局を1つに絞ること」や「かかりつけ薬局/薬剤師を持つことの重要性」など薬局のかかり方や「リフィル処方箋」について周知・啓発することを目的とした取組みを実施し、**加入者の健康増進及びその結果としての医療費適正化**を本事業の目的とする。

### 取組内容①

#### ポピュレーションアプローチ

- かかりつけ医・かかりつけ薬局/薬剤師に関するリーフレットの作成・配布
- 健康保険証・お薬手帳などに貼るためのシールの配布 など

### 取組内容②

#### ヘルスケアポイントの付与

お薬手帳へかかりつけ薬局名の記入、かかりつけ薬剤師の登録などを行った加入者に対してヘルスケアポイントを付与

### 取組内容③

#### 個別アプローチ

本取組の効果が高いと思われる対象者をレセプトから抽出し、個々の受診状況に応じた通知の送付や「リフィル処方箋」を紹介するリーフレットを送付

### 取組内容④

#### 薬局選択のサポート

- かかりつけ薬局を選ぶ際のポイントなど、有益な情報を提供するための電話問い合わせ窓口の設置
- 薬剤師による服薬相談会の開催

上記取組みを実施後、横展開可能なモデル事業を視野に、効果検証及び効果的な施策の確立を目指す

- 本事業の費用対効果の検証
  - レセプトによる医療費適正化効果、アンケート・インタビュー結果による加入者のQOL向上への寄与度
  - 本事業における有形無形コストと上記2つの効果を比較した経済性
- 行動変容を促すための啓発ツール開発、本事業の対象者として、より適した加入者の抽出ロジックの確立

(成果指標)

成果指標①

お薬手帳へかかりつけ薬局名の記入者及びかかりつけ薬剤師登録者の増加人数

取組前後において、お薬手帳へのかかりつけ薬局名の記入者及びかかりつけ薬剤師登録者の増加数をカウントする。

成果指標②

薬局のかかり方に改善があった加入者数

レセプトデータをもとに、複数薬局利用から1薬局の利用となった加入者及び重複投与・多剤投与等が改善された加入者を個別にトラッキングし、該当人数をカウントする。

成果指標③

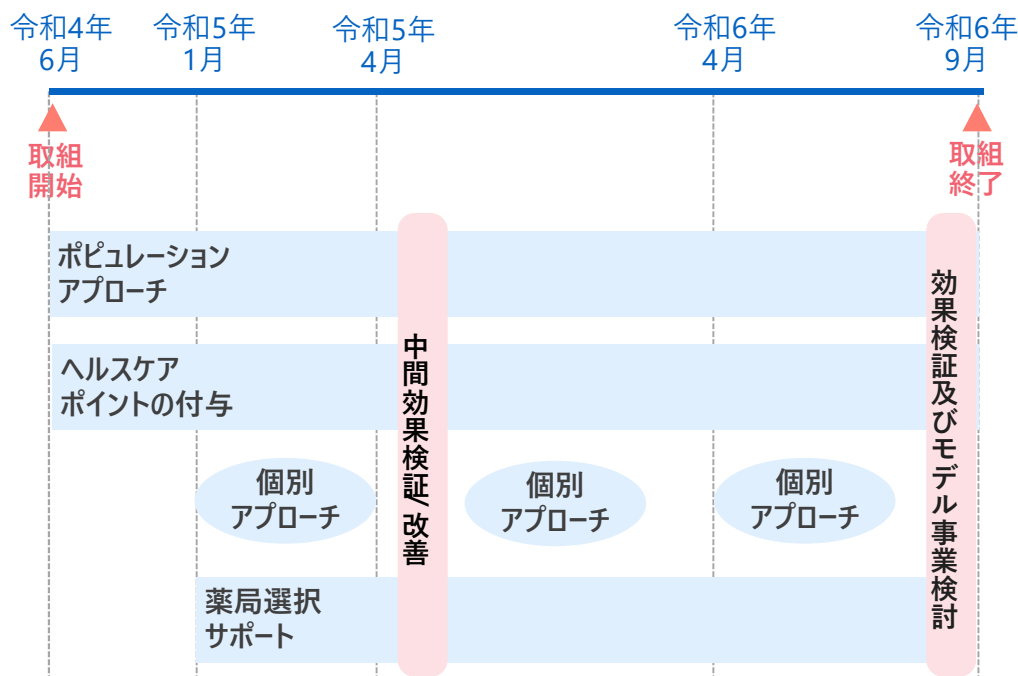
医師・薬剤師の連携による適切な服薬管理のもと、リフィル処方箋が処方された加入者数

レセプトデータをもとに、「リフィル処方箋」の算定をカウントする。

※リフィル処方箋の算定がある加入者における医師・薬剤師の服薬管理状況や健康状態の変化はアンケート等により検証予定

(取組スケジュール)

本事業は複数年度（令和4年6月1日から令和6年9月30日）の実施とし、各年度において下記の取組みを段階的に実施していく。



(実施体制)

かかりつけ薬局/薬剤師・リフィル処方箋に関する啓発ツール作成やアンケート調査等、日本薬剤師会の協力を得て実施。委託業者を通じて薬剤師や公衆衛生の知見も取り入れ実施する。

